

第3期（平成25年度）

総会資料



日時 2013年4月21日（日）18:00～

会場 尾張旭市勤労福祉会館
尾張旭市渋川町三丁目5番地7

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区

地区HP：<http://www.scout-owarihigashi.org/>

日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区

第3期 総会次第

受付		総務委員会
開会式		組織委員会(運営)
開会の言葉		伊吹副協議会長
国旗儀礼、国歌斉唱		コミッショナー
議長選出		
総会成立報告	定足数確認報告 (議員数 243 名) 出席 130 名 委任状 51 名	事務長
議案審議		
第1号議案	平成24年度事業報告 決算報告並びに会計監査報告	地区委員長、コミッショナー 各運営委員長、会計係
第2号議案	役員選任に関する件	地区委員長
第3号議案	平成25年度事業計画 並びに予算案の件	地区委員長、コミッショナー 各運営委員長、会計係
第4号議案	地区規則変更、細則制定の件 協議会長挨拶	事務長 協議会長
閉会式		組織委員会
連盟歌斉唱		指揮 石川保子 氏
国旗儀礼		コミッショナー
閉会の言葉		船橋副協議会長

組織委員会

事業報告

- 1 定例会6回、講演会1回、登録説明会1回、開催
- 2 加盟登録現況調査（9/末現在）の実施
- 3 加盟登録審査支援
- 4 追加登録と団の現況数を毎月発表
- 5 講演会（テーマ；スカウト増員のための企画力）を開催
- 6 地区誌（はやぶさ）を3回発行
- 7 地区WEBの更新
 - ・キャンプ場情報、野外料理情報を掲載
 - ・スカウト、指導者訓練案内の掲載

評価反省

- ・昨年度に続き3部会制（総務・登録・広報）にて効率的な運営ができました。
- ・地区の主要な会議記録概要を発表し組織委員の意識向上に努め、他部門連携の重要性認識を高めました。
- ・加盟登録現況調査を実施し（9/末現在）追加登録者獲得促進を図る事ができました。毎月の登録状況表を発表し、ほぼ全団が追加を達成できた。
- ・講演会を開催し団のスカウト増員企画力アップ支援を行う
- ・団研履修率60%に対して半数程度の達成となり次期以降の課題としていきます。
- ・地区WEBの活用を見直し管理された情報展開と利用率向上のアピールを強化していきます。

スカウト委員会

事業報告

1. 運営委員会の開催と参加
 - ・ 地区運営委員会開催
地区年間プログラムに従って、地区スカウト委員会を6回開催しました。
 - ・ 県連スカウト委員会への参加
4回開催の委員会の総て参加し、内容を地区へ伝達しました。また、所属する部会の事業を実施しました。
2. スカウト対象技能章講習会の開催
 - ・ 4/1 看護章講習会
 - ・ 4/14-15 炊事章・野営章一泊講習会
 - ・ 11/3-4 炊事章・野営章一泊講習会
 - ・ 12/8-9 救急章講習会
 - ・ 1/20 茶道章講習会
 - ・ 3/16-17 救急章講習会

以上6回の講習会を開催しました。詳細は技能章講習会報告にあります。
また、地区救急チームの立ち上げの支援を行いました。
3. 地区スカウトフォーラムの開催
8月26日犬山野外活動センターにて開催し、2名の代表を県連のフォーラムへ送り出しました。この実施には、地区RSの支援を受けました。

4. 宗教章講習会開催
9月～11月江岩寺にて開催し10名が修了しました。
5. 菊スカウト章進級スカウト
昨年度より6名増の30名が進級しました。
別紙、2012 尾張東菊修得スカウト参照
6. 隼章進級スカウト
一名が進級しました。
水野仁美（春日井2）
7. 富士スカウト章進級スカウト
昨年度より二名増の三名が進級を果たしました。
池松慶紀（瀬戸6）、梶谷光平（長久手1）、蟹江志保（日進2）
8. 技能章修得者
91名（2013/03/31現在）
昨年度の三倍に当たる実績です。

評価反省

1. 2012 年度事業目標に関して
 - ① 菊章と富士章
昨年度より増加を果たしましたが、まだまだ満足されるに至りません。継続目標とします。
 - ② 総てのスカウトが団の格差無く同じサービスを受ける
各団のスカウト委員様には、知識の差、熱意の温度差が認められます。よって、この目標達成は本年度も成りませんでした。委員会開催を重ね、くり返し呼びかけて、この目標達成を図ります。よって、この目標は、2013年度目標に引継ぎ掲げます。
 - ③ 技能章講習会は、地区を越えて交流を図る
開催地を変えて、そのエリアの委員の参加を求め交流を図りました。不十分ながら目的の一途は果たせました。
 - ④ 個人進歩記録帳の保持点検と団面接実施
地区内三分の一強の団に結果が outcome ませんでした。2013 年度目標に引継ぎ掲げます。
 - ⑤ 各隊は、班制教育の徹底をする。（県連目標）
スカウト進歩委員会の目標には重すぎるテーマです。が、一個班しか無い隊が三個隊集まって共同の年プロを掲げ、集会を実施することを提案します。
2. 委員会運営に関して
26個団の運営委員が一堂に会しての会議では、協議事項にて発言する委員が少数に限られるのが現状です。アンケートを多用して出来るだけ多くの意見を吸い上げるべく努力しましたが、1. ①に述べました各団委員の知識差・温度差が要因と思われる「発言無し」の委員がいらっしゃることは現実です。この委員会にて啓蒙計の事が大事ですが、同時に、各団団委員長の指導を切に要望する次第であります。
3. 事業計画に関して
地区救急チームの結成が遅れ、5月救急、7月看護の講習会を流しました。急遽 救急チーム発足をサポートして、12月救急講習会の実施と3月の追加実施を果たしました。炊事章、野営章、茶道章については予定された日程通りに実施して目的を果たしました。
フォーラム、宗教章についても計画通りの目標を果たしました。

トレーニング委員会

事業報告

1. 愛知連盟 トレーニング委員会への参画
(2011/5/9.7/11.10/10.2012/1/9.3/13)
2. 地区トレーニング委員会の開催
(2011/4/15.6/17.8/19.10/28.12/16.2012/2/17)
3. 地区指導者訓練の開設

定型訓練：年3回実施 定型外訓練：年7回実施

研修名称	日程	会場	受講者
BS講習会	2012/6/3	尾張旭市 スカイワードあさひ	15名
BS講習会	2012/9/2	小牧市民公民館	37名
BS講習会	2013/3/17	江南市布袋北部学習等供用施設	41名
団委員研修会	2012/6/10	小牧市北里市民センター	52名
救急法講習会	2012/7/8	西春日井市広域事務組合 消防本部 東消防署	18名
BVS隊指導者研修会	2012/10/7	江南市布袋北部学習等供用施設	16名
CS隊指導者研修会	2012/11/4	江南市布袋北部学習等供用施設	22名
DL研修会	2012/12/2	尾張旭市 スカイワードあさひ	35名
ソング・ゲーム研修会	2013/1/20	小牧市中部公民館	25名
野営法研修会	2013/2/16-17	日進市大安寺五色園	20名

4. 定型・定型外訓練参加促進及びその支援

研修名称	参加者
安全セミナー	19名
プログラムセミナーBVS	3名
CS	5名
BS	6名
VS	3名
WB研修所BVS課程	1名
WB研修所CS課程	5名
WB研修所BS課程	8名
WB研修所VS課程	4名
団運営研修所	8名
団運営実修所	3名
WB実修所 BVS課程第34期 修了者	4名 春日井8団 小林 香 江南 1団 山本 浩二 小牧 1団 開内 佐恵子
WB実修所 VS課程第22期	1名

評価反省

- ・ 定型・定型外訓練ともに予定通り開催する事ができた。
- ・ 参加者に偏りが見受けられるので、指導者の資質を高めるためにも多くの参加を促したい。
- ・ 委員会運営に関しては各団委員の方のご協力をいただき、円滑に進めることが出来た。

事業報告

1. 愛知連盟 行事・国際委員会への出席
(2012/5/11,7/13,10/12,2013/1/19,3/29)
2. 地区 行事委員会の開催
(2012/4/15,6/17,8/19,10/28,12/16,2013/2/10)
3. 地区行事の運営、支援
 - ・緑の羽根募金
 - ・スカウトの日 2012年9月17日
 - ・カブラリー 2013年3月24日
4. カブラリー実行委員会への参画
5. 第16回日本ジャンボリー実行委員会への参画
6. 海外派遣面接（韓国ジャンボリー）
7. 野営場リストの作成
8. 地区備品カタログの作成

評価反省

- ・昨年度に比べ、団内作業報告が出るようになってきた。これは、各々が役務を理解し、活動している結果だと思う。
- ・野舎営届け、県外旅行申請書の提出率も良くなってきている。
- ・尾張東地区になって初めてのカブラリーを行うことができた。参加者はスカウト 237 人、指導者 197 人、体験者 5 人だった。組織委員会にも実行委員会に入ってもらって広報をしていただいたが、思ったほど体験者が増えなかった。開催の時期、広報の仕方など検討する必要があると感じた。
- ・前年に引き続き、“海外派遣を知ろう”のコーナーを継続できた。韓国ジャンボリーとフィルモン
ト派遣について生の声を聞くことができた。
- ・地区備品に関して、一部の物に関してはカタログにすることができた。このカタログの活用法に
関しては次年度の検討課題とする。

事業報告

1. 総会開催支援
2. 愛知連盟総務委員会と連携し、地区や団への貢献を推進。
3. スカウトや指導者の健康や安全に関する対応の検討実施
4. 初の地区予選チャリティボーリング大会を開催

結果

- ① 情報伝達は遅滞なく行う事が出来た。
- ② 救急チームの編成が出来ずスカウト委員会へ移管した。
- ③ 財政支援を目標にボーリング大会を開催し参加費の一部を県連へ寄付した。

評価反省

- ① スカウト活動への安全対策、事故対策は議論する事ができたが、具体的に形に表す事ができなかった。
- ② 県連の意向を受けた初の地区予選チャリティボーリング大会を成功裡に終える事ができ、コミュニケーション、親睦が深まった。

尾張東地区ローバース Frontier

事業報告

1. 年次総会（4/15）
2. 定例会（4/15・7/21・10/20・2/23）
3. 奉仕活動（小牧山親子ラリー奉仕 5/3-5・尾張東地区スカウトフォーラム 8/26）
4. その他（愛知ローバース会議年次総会 5/12・愛知ローバース会議定例会 5/12 7/14 10/13 2/17・第21回愛知スカウトフォーラム奉仕 9/28-30・）

評価反省

<良かった点>

- ・HPの立ち上げを行い、情報展開をよりスムーズに行うことが可能となった。
- ・備品の整備も行ったことで、今後の活動をよりスムーズに行うことができるようになった。
- ・新しい参加者も増えた。
- ・愛知県連単位や地区単位の奉仕活動に多く参加し、貢献することができた。

<反省点>

- ・年間スケジュール通りにプロジェクトを実施することができなかった。
- ・各プロジェクトの計画スケジュールをうまく立てることができなかった。
- ・プロジェクト立案者が偏ってしまった。
- ・プロジェクトの実施の仕方をしっかりと定着させることができなかった。
- ・アドバイザーとの連携不足が目立った。
- ・役割分担の不明確なものが多かった。

<改善方策>

- ・プロジェクトの実施の仕方について、一度レクチャーを受けた後にプロジェクトを計画することとする。
- ・年間スケジュールには行事を詰め込みすぎることなく、準備の期間についても年間計画に入れ込む。
- ・役割分担をはっきりと行い、各人の負担過重にならないようにする。
- ・連絡係を設け、より密に連絡を取り合う。
- ・HPによるPRを来年度から積極的に行う。
- ・幹部会を定例で行い、幹部及びアドバイザーとの連携強化を図る。

コミッショナーグループ

事業報告

(1) 地区コミッショナー

①地区コミッショナー会議の開催

6回(4月22日、6月24日、8月26日、10月28日、12月22日、2月23日)

②コミッショナー・運営委員長会議の開催

5回(6月24日、8月26日、10月28日、12月22日、2月23日)

③隊長ラウンドテーブルの開催 [上段：開催日、下段：出席隊数/出席率(%)]

部 門	隊数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
BVS	26	5/27	7/22	10/28	11/25	1/20	3/24
		17/65	20/77	11/42	14/54	14/54	16/62
CS	26	5/27	7/22	11/25	1/20	2/24	3/24
		21/81	20/77	21/81	20/77	21/81	21/81
BS	26	5/20	7/16	9/27	11/23	1/14	3/17
		22/85	23/88	22/85	21/81	21/81	22/85
VS	26	5/20	7/16	9/27	11/23	1/14	3/17
		14/54	12/46	18/69	12/46	13/50	15/58
RS	24	4/15	7/21	11/10	2/23	—	—
		8/33	4/17	6/25	3/12		

④加盟登録審査の開催

平成25年2月9日(土)、10日(日) 全26個団参加

⑤県連盟コミッショナー研究集会への参加

・地区コミッショナー会議 5回 [地区コミ対象：4/17、10/16、1/23

全コミ対象：7/7(11名)、3/9-10(8名)]

・部門別コミッショナー [BVS、CS、BS：1/12、RS(イッパアラード)：2/11]

・団担当コミッショナー研究集会 [6/3 団担当4名]

(2) 団担当コミッショナー

①団訪問を実施し、状況を把握して地区コミッショナーに報告した。

団 名	訪問日	担当	団 名	訪問日	担当
犬山5		高多	春日2		林
犬山7	7/13, 11/23	林	春日3	7/19 3/2	椎葉
大口1		串崎	春日4	6/16, 9/15	中村
江南1	5/18 6/15 8/21 3/21	串崎	春日5	4/1,5/13,5/20 10/14, 1/29	高多
江南2	6/15 8/21 3/21	小林	春日8		林
江南3	6/15,7/7,9/2,11/4,12/9, 1/12,2/17,3/3	高多	春日10	9/8	椎葉
江南4	6/15,9/2,11/4,12/9, 1/12,2/17,3/3	林	尾張旭1	10/7 2/16 3/10	串崎
岩倉1		小林	瀬戸1	8/22 9/7 11/10 3/2	小林
北名1		高多	瀬戸5	5/16 7/18 8/22 11/10	椎葉
北名2	6/23, 10/20, 11/25	林	瀬戸6	7/19 8/22	中村
清須1	12/14	串崎	長久手1	4/17 9/18 11/21	椎葉
小牧1	7/5, 7/19, 10/18	中村	日進1	12/29	串崎
小牧2		高多	日進2	7/14 3/3	小林

※訪問は会議、行事などへの複数人での訪問を含む。

②合併事案3件への関与など各団の事業に対して支援を行った。

③団の継続加盟登録審査に対して、資料の準備と実施に参加した。

④団担当コミッショナー会議を開催して諸案件を協議した。

2 評価反省

(1) 地区コミッショナー

ORS 部門を除き各部門年間 6 回 (RS 部門は 4 回) の RT を開催した。RT では連絡事項、調整事項のみに終始せず、時には定型外訓練の場も活用してスカウト教育の基本に則した活動を実施する、かつ地区内各隊の活動及び指導者の知識・技術水準を引き上げることを目的に研修を実施した。しかし、各隊における研修意欲に差があることから、更に指導者間の差を広げた感が強い。

○次年度は RT を増回し研修の機会を増やすと共に、集合研修の活用、個人対応等の支援方法を検討する。また、隊指導者の隊運営における問題意識の励起と研修意欲の向上を図る努力をする。

○これまでの関わりにより、マネジメントを意識して団運営に取り組み始める団を確認でき、概ね支援の方向性を出すところまで来た。

○各団に対する団担当コミの支援に強弱をつけ、より支援の必要な団に重点的に対処する予定であったが、支援を必要とする団でも訪問が実施できず不十分な結果になった。

(2) ビーバー部門

○各回の RT 毎にテーマをもって開催することができたが、より深いところまで話し合うことができなかった。

○RT で実施した各隊の活動報告や活動予定の発表が、活動計画の参考になった。

○RT を欠席した隊へのフォローができなかった。

○担当コミを中心に RT を運営したが、一方通行的な展開になることも多かった。今後は参加した隊長が RT の中心となるような運営を心掛けたい。

(3) カブ部門

○年 6 回の RT を開催した。RT ではカブラリーの調整以外に、毎回 1 項目以上の研究テーマを設定し、全体、又は小グループで各団の現状、課題解決に向けた話し合いを行った。

○その話し合いの中で、支援が必要な団も判り始め、今後はどのような支援が必要か探り出す必要がある。

○第 1 回カブラリーを各エリアで開催した。行事委員・組織委員と協力し円滑に運営ができたことは評価できる。今回の経験を次回のカブラリーに活かしていきたい。

(4) ボーイ部門

○今期から副コミ 2 人体制となり、より各団の状況把握が出来るようになった。また、RT においては隊長のニーズによるテーマ決めを行い、隊長としての隊運営スキル向上を狙った取り組みを始めた。BS 部門で重要な野営法の参加が少なかったことは残念ではあるが、徐々に取り組みが各隊活動に生かされていくことを期待したい。

○各団 BS 隊の活動について、年間プログラムの提出を求めるのみになってしまった。年間プログラムの分析や隊訪問を通じて、隊活動、班活動がしっかり出来る隊運営が各団で行われるようにしていきたい。

○行事については、24 年 8 月に東海三県野営大会があり、8 個隊の派遣を行った。BS 部門としては地区合併後初の大きな行事となったが、多くの協力をうけ事故なく大会を乗り切った。ただし、各エリア毎に運営方法や野営レベルの差が見られる等課題も見えてきたため、次回 16NJ への課題として、引率指導者の隊運営スキル向上とそれを通じた地区内 BS 部門の訓練レベルの標準化などにより、より効果のあるスカウト活動を目指して改善を図っていきたい。

(5) ベンチャー部門

○富士スカウトに 3 名が進級したことは評価できる。

○単章進級者が 1 名と低迷しているので、RT その他で進級についての協議が必要である。

(6) ローバー部門

ORS 部門は年間 4 回の RT を開催した。地区ローバース定例会や愛知ローバース会議等への参席を促した。役務が重複する指導者が多いので開催日程には配慮はしたつもりですが、RT の参加率も低く参加する指導者も固定化された。団や他部門と連携を強化し、隊長以外でも構わないのでローバー部門の支援者を増やすように団へ働きかけたい。

○今年度は、ローバー特別セミナー (定型外訓練) が開催されたが、当地区からは 1 名の参加であ

った。H25年4月よりエジンバラアワードの取組みが実施される予定であり、積極的な取り組みに支援できるように、情報発信の強化を図りたい。

(7) 団担当コミッショナー

- 全ての団に対して個別に活動案を策定して活動したため、現状の把握が明確にできて団運営に改善の兆しが見える団を確認できた。
- 団活塾に参加するなどして得られた情報を提供するなど、幅広い協力を努めたが、訪問の機会をとることが出来なかった団が一部にあった。
- 団の合併に対して地区からの助言をして計画の進展を支えることができたので、今後も適切な関与が必要と思われる。
- 団審査の方法に対して各団の理解が深まってきており、必要な改善を進めて、団内で活用できるようにもっていく段階まで来ている。
- 地区の年度運営方針及び実施事項の目標と対比して、団活動の結果、成果が不十分であった団への支援の仕方について、重点的に取り組むことが出来なかった反省から鑑みて、原因を究明して効果的な対策を講じる必要性がある。

事務局

事業報告

- ① 愛知連盟 事務長会議
年3回 24/7/7、10/16、25/3/10
- ② 地区委員会／団委員長会議の招集開催
地区委員会 24/5/19, 7/10, 9/9, 11/11, 25/1/13, 3/10
団委員長会議 24/4/14, 6/10, 8/18, 10/13, 12/8, 24/2/9
- ③ 会議資料作成などの事務作業
県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化
- ④ 行事費、登録費等会計に関わる資金管理

評価反省

- ① 事務長会議、諸会議において情報収集交換を積極的に行い、地区への情報展開を速やかに行うことができた
- ② 情報展開において諸事項について遅滞なく各団当遅滞なく展開することができたが、各運営委員会との連携不足により重複配信する情報があり各位に迷惑をかけた感があり、次年度の展開を考慮しなくてはならない。

2012年度・会計報告

(2012年4月1日～2013年3月31日)

[収入の部]

(単位:円)

項 目	2012年 予算	2012年 決算	備 考
1 前年度 繰越金	1,661,048	1,661,048	
2 地区費 (継続登録)	1,645,600	1,645,600	(20,000×26団)+(600×1,876名)
3 地区費 (追加登録)	78,000	72,000	追加登録地区費 (130名)
4 県 連 回 付 金	119,000	117,468	下記の1)・2)
1) 訓練研修費	109,000	99,000	BS講習会・救急章講習会・安全セミナー
2) 緑の羽根 還付金	10,000	18,468	募金額の5%
5 雑 収 入	400	53,587	利息・チーフ・寄付金、
6 積立金から取り崩し	200,000	50,000	ITC支援金として支出
合 計	3,704,048	3,599,703	

[支出の部]

(単位:円)

項 目	2012年 予算	2012年 決算	備 考
1. 訓練研修費	185,000	8,666	(予算費+参加費)-支出
1) 指導者講習会・研修会	50,000	-44,334	(50,000+450,000)-405,666= ▲94,334
2) スカウト技能章講習会	35,000	-23,000	(35,000+195,000)-172,000= ▲58,000
3) コミッショナー研修会	100,000	76,000	コミッショナーグループ研修
2. 行 事 費	100,000	73,656	
1) スカウトラリー	60,000	26,074	(60,000+177,000)-203,074= ▲33,926
2) ベンチャー行事費	20,000	30,435	(20,000+31,600)-62,035= 10,435
3) ローバー行事費	20,000	17,147	地区ローバス活動
3. 事業費・運営費	1,050,000	604,085	
事業費			
組織委員会	200,000	185,472	委員会活動費
トレーニング委員会	40,000	19,940	委員会活動費
スカウト委員会	40,000	29,496	委員会活動費
行事委員会	270,000	105,891	活動費・ITC支援金、ホームステイ
総務委員会	40,000	9,946	委員会活動費
コミッショナー	60,000	32,420	県連・地区活動費
事務長	10,000	9,480	県連・地区活動費
運営費			
会議費	110,000	123,650	会場使用料
事務・通信費	100,000	28,570	事務及び通信・WEB
慶弔費	30,000	5,000	春5 創立記念
雑 費	150,000	54,220	振込手数料・国旗1式、賀詞掲載等
4. 備品購入積立金(*)	50,000	50,000	資材・機材・備品
5. 全国大会関係積立金(*)	1,200,000	2,200,000	日連・県連 各大会等
6. 繰越金	1,119,048	663,296	
合 計	3,704,048	3,599,703	

※地区委員会の承認を得て科目間の流用ができるものとする。

4. 備品購入積立金(*)

備品購入積立金

前年度残高	2012年度 収入	2012年度 支出	次年度 繰越	備 考
50,000	50,000	0	100,000	

全国大会・県大会関係積立金

前年度残高	2012年度 収入	2012年度 支出	次年度 繰越	備 考
200,000	2,200,000	50,000	2,350,000	ITC・16NJ・23WSJ 等準備金

第1回・東海三県合同野営大会 決算報告書

2013年2月8日

[収入の部]

尾張東地区行事委員長 水谷 優介

項目	予算額	決算額	内 訳
参加費	11,700,000	10,179,000	VS・BSスカウト 39,000円/261人
団支援金	50,000	70,000	尾張旭、大口1、瀬戸1、岩倉(半額)
地区補助	200,000	50,000	野営区費含む
編成隊リーダー負担金	272,000	272,000	8500*32
記念品売上	0	518,500	ホ °ロシャツ・タオル・帽子
利息	0	215	
指導者キャンセル分	0	80,000	(未収)小牧1、春3、(回収済み)江南1 犬山5
韓国スカウト交通費	0	6,000	
県連返金	0	160,000	ハ °ス代 20,000円/台
尾張フ °ロック返金	0	652,550	別紙
合 計	12,222,000	11,988,265	

[支出の部]

項目	予算額	決算額	内 訳	
県連 参加費	7,380,000	6,560,000	スカウト:259、指導者:69(GHQ・SHQ・派遣隊8×4名分)	
県連 交通費	1,360,000	1,360,000	170,000円/台×8個隊	
SHQ 野営区参加負担金	600,000	1,131,500	野営区費50,000円 フ °ロック費3,500円/309人	
	498,000	75,000	帽子代	
編成隊 隊運営費	600,000	587,789	70,000円/編成隊+30,000円/VS奉仕隊	
編成隊 備品運搬費	300,000	179,588	トラックレンタル代・高速代 7台分	
編成隊 開拓費	300,000	0		
編成隊 米	240,000	123,200		
	予備費	150,000	28,400	結団式会場費+備品
雑費	30,000	7,713	振込手数料、コヒ °一代、洗剤代	
予備費	100,000	0		
地区記念品代	664,000	932,898	タオル:447,000円 ホ °ロシャツ:485,898円	
キャンセル分返金		19,000	19,000/人 北名2*1	
キャンセル分返金		78,000		
小 計	12,222,000	11,083,088		
スカウト返金		903,000	3500円/人	
地区本会計へ返金		2,177		
合 計	12,222,000	11,988,265		

2013年4月6日

監査報告書

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会
協議会長 横江昭憲 殿

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会

監査 伊藤敏行 印

監査 加藤 建 印

監査 水野 勲 印

私は、2012年4月1日から2013年3月31日までの期間における帳簿並びに、
関係書類の監査を行った結果、収支決算書は、会計帳簿の金額と一致し、尾張東地区の
収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認めます。

以 上

役務	氏名	所属	
協議会会長	横 江 昭 憲	日 進 第 2 団	
協議会副会長 ☆	船 橋 鐸 夫	小 牧 第 1 団	
	見 平 隆	岩 倉 第 1 団	
地区委員長	井 上 勲	小 牧 第 2 団	
地区副委員長 ☆	中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団	
	佐 々 由 高	犬 山 第 7 団	
地区コミッショナー	中 谷 洋	小 牧 第 1 団	
地区副コミッショナー	BVS	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
		石 川 保 子	江 南 第 1 団
	CS	水 谷 英 一	江 南 第 1 団
		伊 藤 克 敏	春 日 井 第 4 団
	BS	山 口 貴 美 江	春 日 井 第 1 0 団
		古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
	VS	岩 田 秀 雅	春 日 井 第 3 団
		小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
	RS ☆	河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
		水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
団担当コミッショナー	高 多 宣 彰	日 進 第 1 団	
	林 尊 浩	瀬 戸 第 6 団	
	串 崎 武 志	春 日 井 第 1 0 団	
	佐 藤 慶 子	春 日 井 第 2 団	
	椎 葉 育 美	江 南 第 3 団	
組織・拡充委員長	椎 葉 浩 志	江 南 第 3 団	
組織・拡充副委員長	青 木 正 士	春 日 井 第 4 団	
	板 津 尚	犬 山 第 5 団	
指導者トレーニング委員長	伊 吹 登	長 久 手 第 1 団	
指導者トレーニング副委員長	鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団	
スカウト進歩委員長	中 村 隆 二	春 日 井 第 2 団	
スカウト進歩副委員長	八 橋 隆	江 南 第 1 団	
行事・国際委員長	間 下 伸 一	清 須 第 1 団	
行事・国際副委員長	竹 原 謙 介	瀬 戸 第 5 団	
総務委員長	田 口 澄 雄	瀬 戸 第 6 団	
総務副委員長	大 谷 茂	北 名 古 屋 第 1 団	
事務長	平 野 嘉 彦	北 名 古 屋 第 1 団	
副事務長	中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団	
会計係	志 水 幹	日 進 第 2 団	
ローバース代表委員	石 原 丈 裕	北 名 古 屋 第 1 団	
	松 井 雅 裕	尾 張 旭 第 1 団	
監事	伊 藤 敏 行	江 南 第 4 団	
	境 正 人	犬 山 第 5 団	

☆ 県連役員

25年度地区運営方針

今年度の地区目標

- 1 質・量とも充実した地区の確立
- 2 実効性のある地区運営
- 3 「第16回日本ジャンボリー」参加者への支援

地区は、「より良き社会人となるべきスカウトとそれを支える指導者の献身的な奉仕により、地域と共生して存在するものである。」との考えのもと、「スカウト」、「指導者」、「地域」を三位一体として捉え、運営していくこととする。そのため、以下の事項を実施する。

(1) スカウトに対して、より良きサービスを提供する。

- ① スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施
(25年度に青少年100人に0.8人のスカウト確保を目指す)
24年4月 実績 1,103名
25年4月 実績 1,021名
- ② 「班(組)活動のできる」団に向けた対応を推進(団の統廃合を含む)
- ③ 海外派遣等のグローバルな活動への参加支援
- ④ スカウト一人ひとりの進歩に配慮し、各部門の目標を達成
・ボーイスカウトは、「菊章」、ベンチャースカウトは、「富士章」取得
・カブスカウトは、クリア章およびチャレンジ章を5個以上取得し、ボーイ隊へ上進
・ビーバースカウトは、全員カブ隊に上進
- ⑤ 「第16回日本ジャンボリー」に向けた対応

(2) 地域と共にスカウト活動があるとの考えのもと、地域との連携を強化する。

- ① 市町村単位の地域行事については、地区としての対応も検討
- ② ラリー等の行事において、スカウト年齢の一般参加者の参加を推進
- ③ 地域内各種団体との連携(広報活動)を推進
- ④ 地域内青少年を対象とした行事の開催

(3) 指導者の資質の向上を図る。

- ① 研修所、実修所への参加支援
- ② 実務研修を盛り込んだ定型外訓練の実施
- ③ 若手指導者の育成(ローバースカウトへの支援)
- ④ 団運営充実のための研修の実施(団委員研修所への参加奨励)
- ⑤ 各種会議の実効性確保
隊長会および運営委員会の充実(研修の場としての活用)

組織・拡充委員会

事業目標

1. 組織委員の意識改革進め、募集活動を展開して全団のスカウト数を前年度比プラスとする。

事業計画

1. 団内編成表を4半期毎に見直ししてスカウト・指導者の獲得を推進する。
2. 組織委員のスキルアップの為、団運営研修所履修率向上を図る。
3. 地区誌を年間、3回発行する。
4. 地区WEBの拡充、運営
5. 募集イベントの情報交流を進め、団の企画力アップ
6. 講演会の継続開催
7. 愛知連盟図画写真コンテストへの出品と奉仕
8. 当地区図画写真コンテスト作品展示

スカウト進歩委員会

事業目標

- ・ 県連 H25 年度事業方針の遵守
- ・ 地区委員長 H25 年度事業方針の遵守
- ・ 総てのスカウトが地域・団の格差無く同じサービスを受ける

以上の目標を達成する具体的方策として

- ① 総ての団のスカウト進歩委員は、自己の年間目標を掲げ、その遂行について毎月末にPDCAを行い、団委員会にて報告する
- ② 年間目標には、少なくとも次の二項目を含む事を期待する
 - 1) CS, BS, VS. の個人進歩記録帳を遅滞なく各隊から入手し、進歩を評価する
 - 2) BS 初級～菊、VS 章・隼・富士の団面接を実施して遅滞なく地区に報告する
- ③ 自己の役務を理解し、役務の遂行に最善をつくす。この為の自己研鑽を怠らない

事業計画

1. 定例地区スカウト委員会の開催 年六回
2. 地区技能章講習会の実施
 - ・ 看護章講習会 2013/04/07
 - ・ 炊事章・野営章講習会 2013/04/13-14
 - ・ 救急章講習会 2013/06/29-30
 - ・ 炊事・野営章講習会 2013/09/28-29
 - ・ 救急章講習会 2013/12/07-08
 - ・ 茶道章講習会 2014/01/19
3. 地区スカウトフォーラムの実施 2013/10/27
4. 宗教章講習会の開催 2013/09月-11月
5. 地区進級面接会の開催 菊章、隼章、富士章
6. 記章伝達式 菊章は団訪問、隼・富士は団委員長会議などの機会を捉えて
7. 県連スカウト進歩委員会への参加と事業の奉仕

事業目標

- ・地区運営方針に準拠し、指導者の資質の向上を図る。
- ・地区内で開催する定型及び定型外訓練の運営を通じ、地区内全指導者の自己研鑽、に貢献する。
- ・愛知連盟指導者トレーニング委員会へ参画し、日本連盟及び県連盟への協力及び伝達される情報の地区内展開、また、周知を行う。

事業計画（各事業の日程は事業計画案参照）

1. 県連盟指導者トレーニング委員会への参画
2. 地区指導者トレーニング委員会の開催（年間6回）
3. 指導者訓練研修会・講習会等の開催
 - 定型訓練
 - ・ボーイスカウト講習会
 - ・安全セミナー
 - 定型外訓練（県連盟主催）
 - ・プログラムセミナー（CS部門）
 - 定型外訓練（地区主催）
 - ・救急法講習会
 - ・団委員研修会
 - ・BVS 隊指導者研修会
 - ・CS 隊指導者研修会
 - ・DL 研修会
 - ・ゲーム・ソング研修会
 - ・野営法研修会
4. 地区指導者トレーニングチームとの共同（指導者訓練の開発と研究）

行事・国際委員会

事業目標

- ・行事委員としての役務を再認識し、自己研鑽を行う。
- ・ラウンドテーブルや他の委員会と協力して、楽しく、スカウト募集につながる地区行事を展開する。
- ・第16回日本ジャンボリー（16NJ）を成功させる

事業計画

1. 県連行事・国際委員会への出席
2. 地区行事・国際委員会の開催
3. 地区行事の運営、支援
 - ・緑の羽根募金
 - ・スカウトの日
 - ・ビーバーラリー
4. 16NJ 実行委員会への参画
5. 地区備品の維持・管理
6. 海外派遣面接

事業目標

- ① スカウト活動事故ゼロをめざす
- ② スカウト活動の事故予防
- ③ 各団のコミュニケーションを図る
- ④ 地区財政基盤の充実
- ⑤ 愛知連盟総務委員会と連携し、地区や団への貢献を推進

事業計画

- ① 愛知連盟 総務委員会への参画
 - ・愛知連盟総務委員会と連携した事故報告の簡略化と地区財政へ貢献
- ② 地区としての事故予防、事故対応に関するマニュアルの作成
 - ・活動の安全対策支援（救急法講習会開催の支援等）
- ③ 地区委員会、団委員長会議等 主要会議記録作成と会員指導者への伝達
- ④ 地区事務局への包括支援
- ⑤ 団財政改善について
 - ・講演会開催
 - ・優良団の対策発表
- ⑥ 育成会規約のモデルを作成
- ⑦ 日連維持会員、県連賛助会員の増強活動

尾張東地区ローバース Frontier

事業目標

- ・プロジェクトに関する企画・運営・報告の実行と手順の明確化
- ・活動への参加者総数 20 人

事業計画

1. 年 1 回の総会と年 4 回の定例会
 - 地区ローバース活動の案内・報告
 - ARC 活動の案内
2. 5 月小牧山親子ラリーポイント運営
 - 大きな工作物を製作する技術を身につける
3. 地区 VS フォーラム運営
 - プログラムを運営する力を身につける
 - VS にローバーの活動を知ってもらう
4. 年 2 回のアクティビティ
 - 自らプログラムを企画・運営する力をつける
5. 1～4 までのプログラム実施のための会議(複数回)
 - プログラムを円滑に進めるために運営委員会を組織し会議を行う
6. 年数回の懇親会
 - ローバー同士の交流を図る
7. 幹部会の定例化
 - 幹部により運営を円滑に進めるための会議を開く

コミッショナーグループ

1 地区コミッショナー

事業目標

- ・日本連盟及び県連盟の方針とその規約に従い、地区内のスカウト運動の基準を維持し、その純正な発展に寄与する。
- ・各種行事等の開催、参加等を進め、地区内のスカウト運動の活性化を図る。
- ・スカウト教育の基本に則し、野外活動をプログラムの中心にした隊運営ができる指導者を養成する。

事業計画

1. 研究会的内容を取り入れたラウンドテーブルを各部門年間8回以上開催
2. ビーバーラリーの開催
3. 各種行事等の実施、参加支援及び組織運営支援
 - ・第16回日本ジャンボリー
 - ・地区ローバース
4. リーダートレーナーと積極的に連携を図り、役務分担を明確にして定型・定型外訓練に参加する指導者の支援及びスキルトレーニングの実施に協力する（インサービスサポート〔任務中の支援〕への取組み）。
5. 会議等の開催
 - ・地区コミッショナー会議 8回
 - ・加盟登録審査 1回
6. 県連盟地区コミッショナー会議及び研究集会への参加

2 団担当コミッショナー

事業目標

- ・地区方針に基づいた活動計画を策定し、設定した個別目標に向けて行動する。
- ・支援を必要とする団に対して、効果的な方法を選択して支援する。
- ・各団に対して有用な情報を提供する。

事業計画

1. 団担当コミッショナー会議（4回以上）を開催して各種課題の解決を図る。
2. 団運営を改善するためのマネジメントについて研究し、試行する。
3. 団統合合併計画の事業に対して支援する。
4. 団委員の資質向上のため、団委員長に協力する。
5. 団委員会を介して隊活動の中での組活動、班活動ができる環境づくりの援助をする。

事務局

事業目標

諸会議体等の円滑運営、団委員長会議への全団出席、地区委員会への全役員出席を目指す。

事業計画

- ① 愛知連盟 事務長会議への参画
年3回（未定）
- ② 尾張ブロック会議への参画
3回（未定）
- ③ 団委員長会議、年3回開催
- ④ 地区委員会 年8回開催
- ⑤ 地区財政・財務管理、資料管理
- ⑥ 会議資料作成などの事務作業
- ⑦ 県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化を図る

予算

2013年度・会計予算

(2013年4月1日～2014年3月31日)

[収入の部]

(単位:円)

項 目	2012年 予算	2013年 予算	備 考
1 前年度 繰越金	1,661,048	663,296	
2 地区費 (継続登録)	1,645,600	1,587,400	(20,000×26団)+(600×1,779名)
3 地区費 (追加登録)	78,000	72,000	追加登録地区費 (130名)
4 県 連 回 付 金	119,000	91,000	下記の1)・2)
1) 訓練研修費	109,000	76,000	BS講習会・救急章講習会・安全セミナー
2) 緑の羽根 還付金	10,000	15,000	募金額の5%
5 雑 収 入	400	400	利息
6 積立金から取り崩し	200,000	600,000	16NJ支援予定
合 計	3,704,048	3,014,096	

[支出の部]

(単位:円)

項 目	2012年 予算	2013年 予算	備 考
1. 訓練研修費	185,000	240,000	(研修予算費+参加費)-支出費
1) 指導者講習会・研修会	50,000	60,000	各種研修
2) スカウト技能章講習会	35,000	30,000	各種技能章講習
3) コミッシュナ研修会	100,000	150,000	コミッシュナグループ研修
2. 行 事 費	100,000	110,000	
1) スカウト ラリー	60,000	50,000	スカウトラリー
2) ベンチャー行事費	20,000	40,000	県・地区フォーラム
3) ローバー行事費	20,000	20,000	地区ローバス活動
3. 事業費・運営費	1,050,000	740,000	
組織委員会	200,000	180,000	委員会活動費
トレーニング委員会	40,000	40,000	委員会活動費
スカウト委員会	40,000	40,000	委員会活動費
行事委員会	270,000	60,000	委員会活動費・ホームステイ
総務委員会	40,000	50,000	委員会活動費
コミッシュナ	60,000	60,000	県連・地区活動費
事務長	10,000	10,000	県連・地区活動費
会議費	110,000	120,000	会場使用料
事務・通信費	100,000	50,000	事務及び通信・WEB
慶弔費	30,000	30,000	
雑 費	150,000	100,000	
4. 備品購入積立金	50,000	50,000	資材・機材・備品
5. 全国大会関係積立金	1,200,000	200,000	日連・県連 各大会等
6. 16NJ支援金	0	1,200,000	
7. 予備費	1,119,048	474,096	
合 計	3,704,048	3,014,096	

※地区委員会の承認を得て科目間の流用ができるものとする。

備品購入積立金

前年度残高	2013年度 収入	2013年度 支出	次年度 繰越	備 考
100,000	50,000	0	150,000	

全国大会・県大会関係積立金

前年度残高	2013年度 収入	2013年度 支出	次年度 繰越	備 考
2,350,000	200,000	600,000	1,950,000	16NJ・23WSJ

- | | | |
|-----|--------------|------|
| 1 : | 地区規則変更について | 別紙参照 |
| 2 : | 地区会計規則改定について | 別紙参照 |
| 3 : | 地区細則制定について | 別紙参照 |

平成24年度運営委員会出席状況表

スカウト委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	3/6	50
犬山第7団	2/6	33.3
岩倉第1団	5/6	83.3
大口第1団	5/6	83.3
尾張旭第1団	5/6	83.3
春日井第2団	6/6	100
春日井第3団	5/6	83.3
春日井第4団	6/6	100
春日井第5団	6/6	100
春日井第8団	6/6	100
春日井第10団	5/6	83.3
北名古屋第1団	5/6	83.3
北名古屋第2団	4/6	66.7

	出席/開催	出席率
清須第1団	2/4	33.3
江南第1団	6/6	100
江南第2団	3/6	50
江南第3団	4/6	66.7
江南第4団	1/6	16.7
小牧第1団	5/6	83.3
小牧第2団	6/6	100
瀬戸第1団	3/6	50
瀬戸第5団	1/6	16.7
瀬戸第6団	6/6	100
長久手第1団	5/6	83.3
日進第1団	6/6	100
日進第2団	4/6	66.7

行事委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	2/6	33.3
犬山第7団	3/6	50
岩倉第1団	0/6	0
大口第1団	0/6	0
尾張旭第1団	6/6	100
春日井第2団	6/6	100
春日井第3団	0/6	0
春日井第4団	5/6	83.3
春日井第5団	4/6	66.7
春日井第8団	3/6	50
春日井第10団	6/6	100
北名古屋第1団	6/6	100
北名古屋第2団	6/6	100

	出席/開催	出席率
清須第1団	5/6	83.3
江南第1団	6/6	100
江南第2団	4/6	66.7
江南第3団	6/6	100
江南第4団	1/6	16.7
小牧第1団	4/6	83.3
小牧第2団	1/6	16.7
瀬戸第1団	1/6	16.7
瀬戸第5団	2/6	33.3
瀬戸第6団	5/6	83.3
長久手第1団	5/6	83.3
日進第1団	6/6	100
日進第2団	3/6	50

トレーニング委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	1/6	16.7
犬山第7団	5/6	83.3
岩倉第1団	4/6	66.7
大口第1団	3/6	50
尾張旭第1団	6/6	100
春日井第2団	5/6	83.3
春日井第3団	0/6	0
春日井第4団	5/6	83.3
春日井第5団	5/6	83.3
春日井第8団	4/6	66.7
春日井第10団	5/6	83.3
北名古屋第1団	6/6	100
北名古屋第2団	2/6	33.3

	出席/開催	出席率
清須第1団	4/6	66.7
江南第1団	6/6	100
江南第2団	3/6	50
江南第3団	6/6	100
江南第4団	1/6	16.7
小牧第1団	5/6	83.3
小牧第2団	2/6	33.3
瀬戸第1団	6/6	100
瀬戸第5団	6/6	100
瀬戸第6団	5/6	83.3
長久手第1団	5/6	83.3
日進第1団	5/6	83.3
日進第2団	4/6	66.7

組織委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	5/6	83.3
犬山第7団	3/6	50
岩倉第1団	2/6	33.3
大口第1団	6/6	100
尾張旭第1団	2/6	33.3
春日井第2団	3/6	50
春日井第3団	3/6	50
春日井第4団	6/6	100
春日井第5団	5/6	83.3
春日井第8団	5/6	83.3
春日井第10団	4/6	66.7
北名古屋第1団	6/6	100
北名古屋第2団	5/6	83.3

	出席/開催	出席率
清須第1団	4/6	66.7
江南第1団	5/6	83.3
江南第2団	4/6	66.7
江南第3団	6/6	100
江南第4団	4/6	66.7
小牧第1団	4/6	66.7
小牧第2団	6/6	100
瀬戸第1団	5/6	83.3
瀬戸第5団	6/6	100
瀬戸第6団	6/6	100
長久手第1団	4/6	66.7
日進第1団	6/6	100
日進第2団	6/6	100

表彰関連

平成24年度表彰履歴(敬称略)

日本連盟功労章	かっこう章	佐々由高	犬山第7団 団委員長
日本連盟	特別 年功章	5年	23名
		10年	18名
		15年	12名
		20年	10名
日本連盟 組織拡充顕彰 (23年度)	優良団	Aランク	小牧第1団 春日井第2団 春日井第4団
ボーイスカウト 愛知連盟	配偶者 感謝状	富成郁匡	清須第1団ビーバー副長 富成博美氏 夫君
	県連有功章	加藤 建	瀬戸第6団 副団委員長
		富成 博美	清須第1団ビーバー副長
		船橋 靖通	小牧第2団 団委員
		山梨 智恵	長久手第1団 ベンチャー隊長
		柳谷 明子	春日井第5団 団委員
		田口 澄雄	瀬戸第6団 団委員長
		坂井田孝一	清須第1団 ベンチャー副長
		葛谷 潔昭	清須第1団 カブ副長
		小島 祐二	瀬戸第6団 団委員
		竹内麻美子	長久手第1団 ビーバー副長
		原田 幸恵	瀬戸第6団 団委員
		福田 治	春日井第10団 ビーバー隊長
		引地 一憲	長久手第1団 カブ隊長
		林 尊浩	瀬戸第6団 カブ隊長
		松浦 秀則	小牧第2団 育成会長
		植野 弘	瀬戸第6団 ベンチャー隊長
		笠原 千恵	瀬戸第6団 団委員
		桑原 保雄	春日井第10団 育成会長
		岡崎 茂夫	瀬戸第6団 団委員
	顕彰記章	小林 佑	春日井第2団
星野 輝		日進第1団	

尾張東地区トレーニングチームメンバー			
NO	役 務	氏 名	所 属 団
日 本 連 盟	リーダートレーナー	見 平 隆	岩 倉 第 1 団
	リーダートレーナー	井 上 勲	小 牧 第 2 団
	リーダートレーナー	伊 吹 登	長 久 手 第 1 団
	リーダートレーナー	中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
	アシスタントリーダートレーナー	岩 田 秀 雅	春 日 井 第 3 団
	アシスタントリーダートレーナー	森 祐 次	瀬 戸 第 6 団
	アシスタントリーダートレーナー	椎 葉 育 美	江 南 第 3 団
	アシスタントリーダートレーナー	中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
	アシスタントリーダートレーナー	中 谷 洋	小 牧 第 1 団
	アシスタントリーダートレーナー	中 谷 真 里	小 牧 第 1 団
アシスタントリーダートレーナー	日 比 野 良 治	江 南 第 4 団	
1	チームスタッフ	古 川 秀 晴	犬 山 第 7 団
2	チームスタッフ	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
3	チームスタッフ	前 田 英 昭	春 日 井 第 1 0 団
4	チームスタッフ	山 口 貴 美 江	春 日 井 第 1 0 団
5	チームスタッフ	小 林 志 穂	春 日 井 第 2 団
6	チームスタッフ	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
7	チームスタッフ	岩 田 み ど り	春 日 井 第 3 団
8	チームスタッフ	林 正 章	春 日 井 第 3 団
9	チームスタッフ	伊 藤 克 敏	春 日 井 第 4 団
10	チームスタッフ	鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団
11	チームスタッフ	小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
12	チームスタッフ	河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
13	チームスタッフ	津 田 信 秋	北 名 古 屋 第 1 団
14	チームスタッフ	植 木 治 雄	北 名 古 屋 第 1 団
15	チームスタッフ	中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団
16	チームスタッフ	石 川 保 子	江 南 第 1 団
17	チームスタッフ	水 谷 英 一	江 南 第 1 団
18	チームスタッフ	椎 葉 浩 志	江 南 第 3 団
19	チームスタッフ	石 原 昌 幸	江 南 第 3 団
20	チームスタッフ	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
21	チームスタッフ	栗 本 雅 仁	小 牧 第 1 団
22	チームスタッフ	古 木 涉 太	小 牧 第 1 団
23	チームスタッフ	伊 藤 宏 享	瀬 戸 第 5 団
24	チームスタッフ	竹 原 謙 介	瀬 戸 第 5 団
25	チームスタッフ	林 尊 浩	瀬 戸 第 6 団
26	チームスタッフ	引 地 一 憲	長 久 手 第 1 団
27	チームスタッフ	竹 内 麻 美 子	長 久 手 第 1 団

尾張東地区救急チームメンバー

No	役務	氏名	所属団
1	チーフ	小林 泰陸	春日井第4団
2	サブチーフ	高多 宣彰	日進第1団
3		横江 昭憲	日進第2団
4		串崎 武志	春日井第10団
5	事務局	中村 里美	北名古屋第2団
6		増田 恵子	春日井第5団
7		片谷 文	春日井第5団
8		松本 陽子	春日井第2団
9		水野 勲	春日井第8団
10		五井 忍	春日井第4団
11		西下 秀志	北名古屋第2団
12		椎葉 浩志	江南第3団
13		前田 尚美	江南第4団
14		杉本 京子	犬山第5団
15		伊佐治 知加子	日進第2団
16		勝田 裕子	日進第2団
17		式部 宏美	日進第2団
18		竹内 麻美子	長久手第1団

WEBチームメンバー

No	役務	氏名	所属団
1	シスオペ	椎葉 浩志	江南第3団
2	シスオペ	石原 昌幸	江南第3団